

新年のごあいさつ

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成30年7月豪雨災害から復興に向け全力で取り組んでいる中、平成30年は豪雨災害により中止となった「うわじま牛鬼まつり」でございますが、昨年は2年ぶりに開催され、市内外から多くの方にご参加をいただき、特に姉妹都市・友好都市からは、60人を超える訪問団の方にお越しいただきました。おもてなしをさせていただく中で大変多くの励ましのお言葉もいただき、改めまして本市の復興を一步でも進め、被災された方々の元の生活を実現しようと心を新たにいたしましたところでございます。

昨年、市議会では「宇和島市議会政治倫理条例」を制定し、議員は市民全体の奉仕者として政治倫理の確立と向上に努め常に良心に従い誠実にその職務を行い、これからも市民に信頼される公正で民主的な市政の発展に寄与するよう努めることを明文化しました。さらに、議会関連資料を電子化するペーパーレス化と文書保存・管理の徹底と議会運営の効率化を推進するためにタブレット端末を導入しました。今後とも議会改革を推進し、より透明性の高い議会運営を行いたいと考えております。

さて、今年「子年」です。子孫繁栄や新しい生命が種子の中に萌し始める状態を表しているとされており、市議会といたしましては市民の皆さんにより多くの希望や活力が芽生えますよう、種をまき本市発展のため尽力してまいりますので今後とも議会活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、2020年が皆さんにとって幸せで実り多い年となりますようご祈念申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。また、平素から市政の推進と発展に多大なるご支援とご協力を賜っておりますことに対しまして心から厚く御礼申し上げます。

新たな時代「令和」を迎えて早くも半年が経過いたしました。過ぎ去りし平成の時代を振り返ると、平成30年7月豪雨をはじめ災害が多発した時代であったと思います。

また、昨年10月に発生した台風第19号に伴う豪雨では、平成30年7月豪雨災害において物心両面で多大なご支援をいただいた姉妹都市の仙台市、大崎市、千曲市など東日本各地で河川氾濫による浸水や大量の災害ゴミの発生など甚大な被害が発生いたしました。被災された方々に対しまして心からお見舞いを申し上げます。

本市も復旧・復興に向けて未だ道半ばではございますが、今後とできる限りの支援をしてまいりたいと考えておりますので、市民の皆さんのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年であります。また、1月末ごろには市の統一ロゴマークも決まる予定であり、すでに発表しているキャッチコピー「ココロまじわうトコロ」とあわせて積極的に本市の魅力を国内外に売り出していきたいと考えておりますので、今後とも市政に対しまして格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、2020年が市民の皆さんにとって幸多き1年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



令和2年元旦
市議会議員一同

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

宇和島市議会議長
福島 朗伯



令和2年元旦
宇和島市

謹賀新年
皆様のご健勝を
お祈り申し上げます

宇和島市長
岡原 文彰